

氏 名 井上 翔太

(※論文提出者の氏名を記入)

主論文審査の要旨

井上は「コンクリート内パルスパワー放電による高度骨材再生処理」と題して、これまでに四年にわたり研究を進めてきた。論文内容としては、コンクリート内でパルス放電を形成すると、コンクリートを粗骨材とモルタルへと分離できることを見出し、更に、その粗骨材が再生コンクリート用骨材として十分な品質を有していることを実証した。

最終試験の研究成果発表及びその質疑応答においては、十分に研究内容を理解し、かつ、その説明方法も適切であったと審査委員より判断され、また、既に研究成果を査読付論文2編（うち第一著者2編）及び査読付国際会議プロシーディングス5編（うち第一著者2編）として公表し、これは本講座の学位審査基準を満たしている。そのため、本論文は博士（工学）の課程博士論文として十分な内容であると判断した。

最終試験の結果の要旨

最終試験において、審査委員会は学位論文提出者に対して論文内容を中心に諮問をおこない、その結果、学位論文提出者は当該及び関連分野に対する十分な知識と理解を有しており、研究遂行能力を十分に有していると認めた。また、外国語に関しては、英語による論文発表より、十分な能力があると認めた。以上の結果より、審査委員会は最終試験を合格と判定した。

審査委員会

主 査 浪平 隆男（バイオエレクトリクス研究センター）

委 員 秋山 秀典（複合新領域科学専攻 衝撃エネルギー科学講座）

委 員 勝木 淳（バイオエレクトリクス研究センター）

委 員 Hamid Hosseini（バイオエレクトリクス研究センター）

委 員 佐久川 貴志（複合新領域科学専攻 衝撃エネルギー科学講座）